

# The Journal of Global Studies

ICHINOMIYA NISHI SHS 7th June 2018

## 国際理解コースがスタートしました！

平成30年4月、ついに一宮西高校国際理解コースが一期生37名の生徒でスタートしました。今回は国際理解コースでの最初のイベントである、名古屋大学スタディツアーの様態を中心にお伝えします。



## 名古屋大学スタディツアー

次に挙げる国はどこにあるかご存知ですか？その国の人に会ったことがありますか？言語は？人種は？文化や政治、素晴らしい点、問題点は何でしょうか？

パプア・ニューギニア、フィリピン、カンボジア、コートジボアール、アフガニスタン

5月16日（水）～5月18日（金）、2年生普通コースが修学旅行中の3日間、国際理解コースでは独自の行事を行いました（国際は10月に台湾へ行きます）

5月16日（水）	一部授業、名大訪問リサーチ、午後台湾映画鑑賞
5月17日（木）	名大スタディツアー
5月18日（木）	名大スタディツアーまとめ、ポスター制作 台湾修学旅行準備（映画鑑賞、旅行社による説明会）

今回お世話になったのは、名古屋大学国際開発研究科（Graduate School of International Development）の大学院生による EIUP(Education of International Understanding Program)という組織です。この研究科には多様な国や地域より数多くの留学生が在籍しており、EIUP はそういった外国人留学生と小学校から高校にわたる生徒たちとの交流の機会を提供しています。通常は留学生が各学校に向向くのですが、一宮西高校国際理解コースは、大学に出向き、5名の留学生と1名の日本人大学院生とのディスカッションを行いました。コースの生徒たちは6グループに分かれ、前日に事前学習として、留学生の国の地理、歴史文化、政治形態、留学生の研究テーマなどについて国際ルームの一人一台パソコンも用いてリサーチを行います。

留学生、院生のみなさん（左からフィリピン、アフガニスタン、カンボジア、コートジボアール出身、一番右は日本人大学院生の方々。パプア・ニューギニアの留学生は遅れて参加）



紹介の後、留学生それぞれが生徒たちのテーブルを順に回り、25分のディカッションを3回行いました。ディスカッションは英語ですが、日本人院生がサポートにつき、適宜日本語で橋渡しを行ってくれます。

←コートジボアール出身のマリさんに実  
←フィリピンのカールさんに質問中(右)  
翌日に学校でまとめを行い、ポスター。このポスターは7月25日のローバルサマーセミナーで展示しても一部掲示中)



演（左）

ターを作製しまし  
一宮市役所でのグ  
ます(国際ルームに

最後にコース生徒の感想から

- ・ネットでは知ることができない、現地の人からしか聞けない情報が聞けた
- ・始まる前、出川イングリッシュでもいいぞ！という思いで臨んだ。結果は大盛り上がり！
- ・日本中心の視点は普通ではないのではないかとほかの国の視点で考えるのも大事
- ・あいづちや一言感想をはさむだけで会話が繋がって楽しくなるのを実感！
- ・受け身の姿勢についついなくなってしまった。この反省を生かしたい
- ・当たり前とと思っていることに疑問を持つ→調べる→さらに疑問を持つの繰り返しこそ研究
- ・通訳なしでなんとなくわかったときはうれしかった！院生の方みたいに流暢に話したい
- ・国際的な情勢について日本語でもいいから理解して考えて英語で発信したい
- ・翌日まとめをし、ポスターをついたら問題点が整理できた
- ・名大とてつもなく大きかった